

平成 21 年度 第 3 回 男女共同参画懇話会

議事録

日 時 2010年3月26日(金)10:00~12:00

場 所 市役所 東館3階 会議室10

出席者 委 員...古賀、山本、石川、魚住、加藤、具、都築、福家、三和、米正、渡辺
事務局...課長、補佐、犬塚、原田

欠席者 な し

別紙次第にそって進行。

1. あいさつ

会長よりあいさつ。

2. 議題

(1) 平成20年度事業評価の各課回答について

・今年度は平成20年度事業評価の中より26事業を抽出し、懇話会の評価・提案をもとに各課にヒアリングを行い、提案に対する回答を受けた。その回答に対する質疑の後、HPに掲載することについて了承を受けた。近日中に掲載することとする。

(2) 平成22年度の部会体制について

・来年度も今年度同様の評価部会と推進部会の2部会制にし、全体会を3回と各部会を2回で懇話会を進める。各会のスケジュールと検討内容については今後の話し合いによって決定するが10月下旬までに「市への評価書」の提出をする。

(3) 平成21年度事業の評価方法について

・これまで平成19年度事業、平成20年度事業の2回の評価を行った。今は計画の前期の段階であり、評価方法を変えることのメリットもそれほど多くないため平成21年度の評価方法も【事務局による事業抽出 各課からの説明 評価部会による評価 推進部会による提案 各課より回答を受ける】の流れで行うこととする。

(4) 事務局報告

平成21年度(市民協働課)男女共同参画事業実績

平成21年度に行った事業についての説明をした。

- ・親子体験事業について。毎年行っているがどのような効果があったのか検討してほしい。参加者アンケートを通じて効果や今後についての検討をしていく。

・DV理解研修について。短期大学という市外の学生も多い場所に対し、豊明市の予算を使って研修を行うことは市民の理解を得られないのではないか。

一般向け講座という手法では若い世代の参加者を集めるのはとても難しい。DVは若い世代に対してより啓発していくことが重要なため、その目的を明確に位置づけることで市民の理解を得たい。

・DV理解のための職員研修について。保育園では臨時職員も多く、その方々にも研修を受けてもらいたい。人員が少ないために臨時職員を置いていると言う現状もあり、難しいと思うが講座を受けられる体制にならないか。

児童課経由で各保育園にも参加依頼を出している。通知の際に一言そえることで臨時職員の参加も促していきたい。

・平成22年度（市民協働課）男女共同参画事業計画

・親子体験事業について。来年度も同じ内容で予定されているが、目的と効果を改めて検討し、理念に合ったNPOに依頼することも検討してはどうか。

・男女共同参画イラストについて。募集する際に何を目的として行い、どのように作品を活用するかについてを前面に出すことでより募集があるのではないか。

（５）その他

・日本女性会議の参加に伴う交通費を財政当局に予算要求したが、予算がつかなかった旨を報告。

・男女共同参画川柳・標語について、5月か6月の校長会にて依頼予定である。裏面に男女共同参画についての説明を載せることにより啓発活動も行っていきたい。

3. その他

・プランの事務担当課の変更について。

DVに関する業務は「窓口の一本化」により、児童に対する虐待の指導に加え、大人のDVに関する窓口も持つようにするため児童福祉課へ移管する。

・機構改革及び人事異動の報告。

【市民部 市民協働課 市民活動推進係】より【市民生活部 市民協働課 協働推進係】に名称が変わり、業務もこれまでの業務に多文化共生係が加わることを報告。

市民協働課の伏屋課長補佐が4月より異動となるため挨拶。

・次回懇話会は5月中旬の予定。4月に入ったら各委員に予定の確認を行うこととする。